

令和5年度「土砂災害 啓発・伝承プロジェクト」の推進について

1 要旨・目的

「広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動」の一環として推進している「土砂災害啓発・伝承プロジェクト」について、今年度の取組を報告する。今年度は、引き続き、多様な主体と連携することで相乗効果を得るとともに、ICTを含む多様な手法を駆使することにより、より効率的かつ浸透効果の高い取組を展開する。また、全国的に土砂災害防止にかかる様々な取組が実施される土砂災害防止月間（6月）に集中的に取り組むことで、本年度出水期において早々に当プロジェクトの効果が得られるよう取組の促進を図る。

2 現状・背景

平成26年8.20土砂災害を踏まえ、県民の土砂災害に対する意識の醸成を図るとともに、過去の土砂災害の教訓を伝承していくため、「啓発」、「防災教育」、「伝承」を3本の柱とした「土砂災害 啓発・伝承プロジェクト」を立ち上げ、土砂災害に関する啓発や、防災教育、地域の被災事実の伝承などに取り組むことによって、地域の防災力の向上を推進している。

3 概要

(1) 対象者

県民

(2) 事業内容（実施内容）

ア 土砂災害防止月間（6月）における集中的な取組

（ア） 避難啓発推進キャンペーン

災害時の避難行動を喚起し警戒避難による災害回避の実効性を向上させるため、避難行動を啓発するメッセージを内容・デザインの統一されたコンテンツ（「呼びかけ避難」のポスター等）を用いて、次のとおり多様なメディアやツールを通じて短期集中的に発信するキャンペーンを関係課と連携して実施する。特に、幅広い世代の利用者数が多いインターネットサイトやSNS等を重点的に用いることで、より効果的かつ効率的な情報発信に取り組む。

- 公共交通機関、商業施設、公的機関庁舎等多くの県民が訪れる様々な施設へのポスターの掲示
- テレビ、ラジオ、広報誌、県ホームページ、WEB広告、SNS等を通じた集中的な情報発信



ポスターの掲示状況



デジタルサイネージによる映写



SNSによる情報発信

(イ) 疑似体験型防災教育

災害を可視化できる VR・AR 等の技術を用いた疑似体験と座学を組み合わせ、土砂災害について知識と体験の両方から学ぶ出前講座を実施する。



VR 機を用いた出前講座



AR 技術による土砂災害リスクの可視化
「キキミル AR」

イ 「啓発」に関する取組

(ア) 広報活動の実施

小中学生を対象とした絵画・作文の募集や、WEB 広告や SNS 等に重点を置いた情報発信等積極的な広報に取り組む。

(イ) 土砂災害警戒区域等の認知度向上

日頃から土砂災害リスクを認識していただけるよう、警戒区域を有する県内の各小学校区を対象に土砂災害警戒区域等を明示した標識の設置を計画的に進めており、今年度で対象となる全小学校区において設置が完了する予定である。



「土砂災害に関する絵画・作文」
令和 4 年度受賞作品



土砂災害警戒区域等の標識

ウ 「防災教育」に関する取組

土砂災害に関する防災知識の普及を図るため、学校との協働による小中学生を対象とした砂防出前講座や、地域の自主防災組織や学校教員等を対象とした防災教室に取り組む。

(ア) 「ひろしま防災出前講座」の実施

小学校を対象とした出前講座については、引き続き、みんなで減災推進課及び河川課と連携して実施することで、より一層の防災教育の推進に取り組む。

(イ) 効果的な防災教育の実施

VR等のICT機器を活用した防災教育、模型や工事現場見学等を組み合わせた体験学習、マイ・タイムラインなど多分野に跨る防災教育など、国や関係課と連携し、より効果的な防災教育を実施する。

エ 「伝承」に関する主な取組

(ア) 「地域の砂防情報アーカイブ」の取組

過去に発生した土砂災害に関する資料の収集や運営会議による審査・資料登録を進め、「地域の砂防情報アーカイブ」の充実を図るとともに、登録した写真等の災害記録については、防災教育へ活用するなど、より一層の活用の促進を図る。

また、「キキミルAR[※]」において、登録した写真等の災害記録を表示する機能を追加する。(令和5年5月31日運用開始予定)

※「キキミルAR」は、AR技術を活用し、周囲の土砂災害警戒区域等をスマートフォンのカメラ映像に重ねて表示する機能の通称。

(イ) 土砂災害伝承パネル展の開催

市町等と連携し、公民館等で土砂災害伝承パネル展を開催する。



過去の土砂災害記録のAR表示
（「キキミルAR」のイメージ）



土砂災害伝承パネル展

(3) スケジュール

—

(4) 予算（国庫・単県）

113 百万円

4 その他（令和4年度の主な実績）

区分	取組概要	実績
啓 発	土砂災害防止に関する絵画・作文の募集 ・広島県の応募作品の中から，4名が優秀賞（事務次官賞）を受賞 ・表彰伝達式を令和5年3月29日に開催	384 作品が応募
	避難啓発推進キャンペーン ・避難行動を啓発するメッセージを短期集中的にテレビやポスター等の多様なメディアやツールを通じて発信するキャンペーンを実施（6月）	（主な実績） ・ポスター 約 16,000 枚を掲示 ・チラシ 約 18,000 枚を配布 ・クリアファイル 約 27,000 枚を配布
	土砂災害警戒区域等を明示した標識の設置	191 小学校区
防災教育	小・中学校を対象とした出前講座の実施	43 小中学校で実施
	自主防災組織等を対象とした防災教室の実施	3 回実施
伝 承	「地域の砂防情報アーカイブ」の公開 ・災害写真等の登録について審査する運営会議を令和5年1月31日に開催 ・平成30年7月豪雨災害に関する災害写真などを登録	151 点を新たに公開
	土砂災害伝承パネル展の開催	28 箇所で開催